

国立天文台・天文情報センター・アーカイブ室 中桐正夫

*** 1966年の東京天文台新本館（北研究棟・管理棟）竣工の記念品**

東京天文台は関東大震災で麻布の天文台が壊滅したのを期に大正13年（1924年）9月に三鷹に移転した。しかし、麻布の敷地は狭隘であったため、三鷹への移転が決められ、明治42年（1909年）には三鷹に72,000坪余（最終的には約10万坪）の土地を購入して移転を進めていた。本館は大正5年（1916年）に建設を開始し、大正10年3月31日、1885平米が竣工した。この本館は木造平屋であったが重厚なものであった。平面図が残っており図1のようであった。

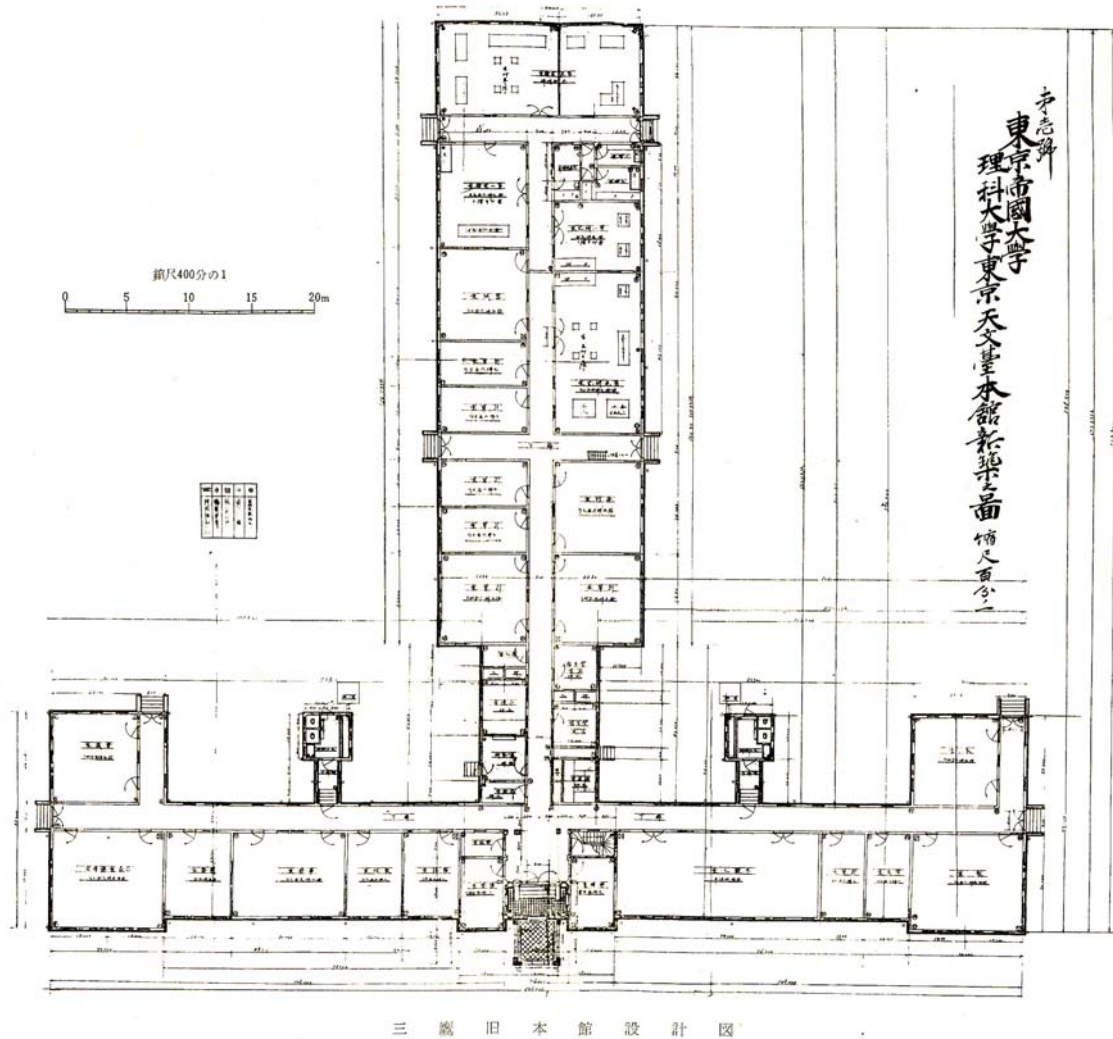


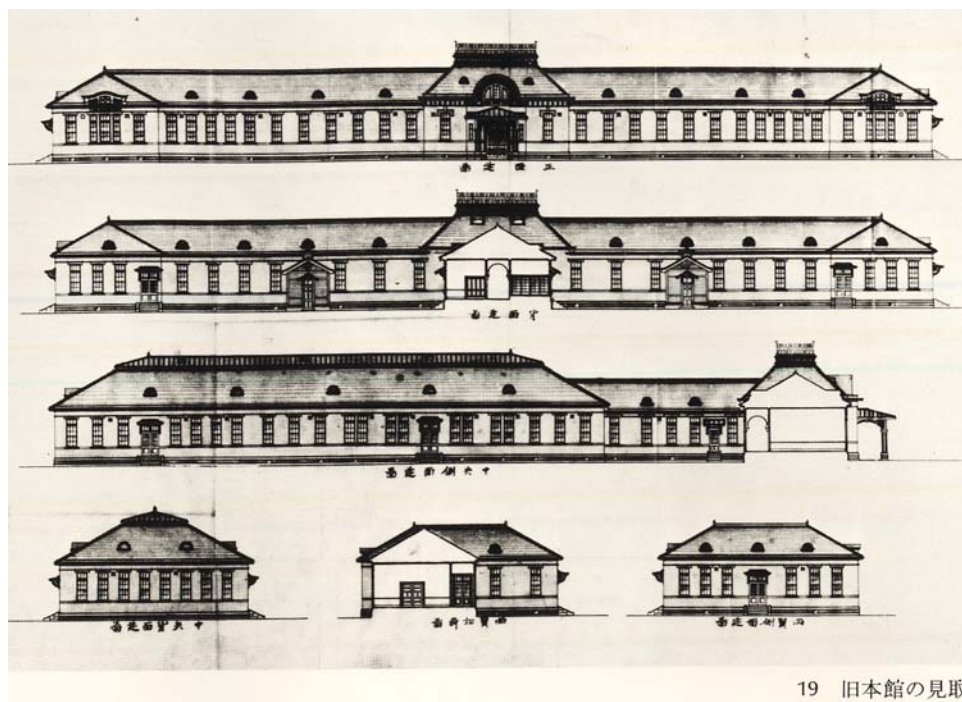
図1 旧本館平面図（大正10年竣工）

残念なことにこの旧本館は昭和20年（1945年）2月未明、火災のために焼失してしまっ

た。昭和 20 年の消失というから、戦災と思うかもしれないが、これは原因が特定できない失火（一説には漏電とも言われている）による火災だった。この火災で貴重な資料を失った事は言うまでもない。写真 1 が旧本館の正面玄関、写真 2 が見取り図である。



写真 1 旧本館正面玄関



19 旧本館の見取り

写真 2 旧本館見取り図

戦後、木造平屋の本館(一)が昭和 24 年 2 月、本館(二)が昭和 25 年 3 月に竣工しているが、これらの本館は仮本館というほどの旧本館には比べようもないものであった。台長室、応接室、事務部は台長官舎として建てられた 14 号官舎に入って、本館(一)、(二)に入りきれない研究室は構内のあちこちのバラックで研究を続けたのであった。そして本格

的な本館の建設は火災から21年を経てやっと建設されたのである。その新本館(3290平米)竣工(写真3)の記念品として配布された黒い「日時計」(写真4)を発見した。



写真3 1966年(昭和41年)竣工した新本館



写真4 竣工記念品の日時計



写真5 記念品の裏面の刻印

新本館(北研究棟・管理棟)が建設され、続いてというには遅いが昭和47年(1972年)古畑台長のときに南研究棟が建設された。

このような、記念品もアーカイブの対象であろう。こういった記念の品をおもちの方はご寄贈いただけるとありがたい。